

2022年11月30日

各位

## 日本ゼオン、米国での水素化ニトリルゴム生産能力増強を決定

日本ゼオン株式会社

日本ゼオン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:田中 公章 以下、当社)はこのたび、子会社である Zeon Chemicals L.P.(本社:米国ケンタッキー州、Managing Director:Mike Recchio 以下、Zeon Chemicals)のテキサス工場(米国テキサス州)において、水素化ニトリルゴム(製品名:Zetpol®)の生産能力増強を決定いたしました。

Zetpol®は、耐油性の高いニトリルゴムを水素化することにより耐熱性を高めた特殊ゴムで、当社高岡工場(富山県高岡市)と Zeon Chemicals テキサス工場の 2 拠点で製造しており、テキサス工場では 2020 年に、高岡工場では 2022 年にそれぞれ生産能力増強を実施し、供給体制を強化してまいりました。

Zetpol®は高耐熱、高強度が求められるさまざまな産業領域において需要が拡大していることに加え、フッ素ゴムの代替用途など、今後も安定した需要増が見込まれています。また、水素化ニトリルゴムを主成分とする当社のリチウムイオン電池(LIB)用正極バインダー※は、昨今の電気自動車の急速な普及に伴い、国内外における需要が高まっており、今回の能力増強はこれらの旺盛な需要に応える形となります。

今回の能力増強により、ゼオングループ全体における水素化ニトリルゴムの年間生産能力は現行比で約 25%増加する見込みであり、本年 11 月に着工、2025 年 1 月の生産開始を目指します。

ゼオングループは、これからも Zetpol®の安定的な供給体制を確保しながら、産業発展に尽くしてまいります。

※独自設計である当社の正極バインダーは、2011年から本格的に事業参入して LIB の生産性と電池性能向上に貢献しており、当社は多くの LIB 関連特許を有しております。



Zeon Chemicals テキサス工場

以上

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 コーポレートサステナビリティ統括部門 広報室 電話:03-3216-2747